

「創」義歯建築家になる為の Denture Design の原則」

川島 哲

人口動態の変化は加速度を増し、少子高齢化により欠損補綴も激変しています。現在歯科医療の進歩により、高齢者の義歯の傾向は、総義歯が減り多数歯欠損（少数残存）へと移行しております。

それは、総義歯と局部床義歯の融合した“創”義歯学の登場が望まれます。

よって、多数歯欠損の新たな“創”義歯建築家の道が登場しなければなりません。

そこで、義歯に生命力を充てる専門家への道は特に重要です。

今回は、患者さん満足度に向けた基礎的な原則と、臨床での Denture Design いわゆる臨床設計図「基本設計」を患者さんの前で、スラスラと描く能力を具備する方策を特別に提示させていただきます。